

# タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

金谷地区(実施日:平成29年8月28日)

対応状況・反映状況の凡例  
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの  
 ○…前期基本計画に反映したもの  
 ×…前期基本計画には反映しないもの  
 ……質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
1	「人と産業・文化の交流拠点水と緑の健康都市 島田」から「笑顔あふれる安心のまち 島田」に変更されるのですか。	御質問のとおり、今後8年間のテーマとして「笑顔あふれる安心のまち 島田」を掲げまちづくりを進めていきます。	—	
2	地域づくりのテーマは全部でいくつありますか。	市内を川根地区、伊久身・大長地区・金谷地区。旧市内・大津地区、六合地区、初倉地区に分け、地域別のまちづくりの方向性を決めています。	—	
3	「茶の歴史・文化を継承」した後、どの様にして未来に輝く金谷地区をつくるのか、具体的な施策を教えてください。	金谷地区の観光拠点として、旧金谷中学校跡地を利用した「空港周辺プロジェクト」や県に移管された「ふじのくに茶の都ミュージアム（旧お茶の郷）」、また新東名島田金谷インターチェンジ周辺整備における「賑わい交流拠点」のネットワーク化を図り、お茶の歴史、文化を継承し、地域の活性化を進めていきます。	—	
4	人口減少により、今後の税金、保険料の上昇率はどのようになるのか。	現段階では、税制改正の見通しが不透明な状況です。国民健康保険税につきましても、平成30年度に国保制度改革等が予定され、どの様にならっていくか分かりかねる状態です。	—	
5	人口減少対策は具体的にどのように進めていくのか。	各政策分野における取組を実施することで、今後の目標人口の達成を目指すこととしています。	—	
6	各事業計画に対する財源の確保はできているのか。	計画の中に含まれる各施策については、市の収入から、必要とする費用（福祉や子育て、高齢者へのサービスに必要な扶助費や地方債元利償還金の返済など）を差し引いた中で、調整を図ることになりますが、毎年度策定する実施計画で具体的にしています。	—	
7	前総合計画は達成されたのか。変更はあったのか。反省は。達成されたものは何か。	平成29年度までを計画期間とする現総合計画については、成果指標「めざそう値」を100項目設定し、毎年度その進捗に対する評価を実施しています。また、その評価については、情報公開コーナーや市のホームページに掲載しています。	—	
8	総合計画において、あれこれ大事なものがあることはわかるが、最も力をいれる重点施策はなんなのか。	人口減少、超高齢社会の克服が重要な課題であると認識しています。それに対応する施策として、新病院建設事業、新東名島田金谷IC周辺整備事業、空港周辺プロジェクト、市役所周辺整備の検討を重点施策として位置付けています。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
9	防災無線のデジタル化とはどういったものなのか。	通信チャンネルの多チャンネル化や、双方向の音声通話や高速データ通信が可能となる高機能・高性能のシステムを構築するものです。 島田市では、デジタル化を単純なアナログ方式からの移行と捉えず、住民への適時的確な情報伝達ができる通信設備として、長期的な使用に耐えられ、将来的な展望を加味したシステムとして整備を進めていきます。	—	
10	近年大雨による河川堤防の破壊が発生しているが、市内河川（特に大代川の土砂堆積が見られる）ほどの程度の雨に対応が可能であるか。	洪水ハザードマップや、土砂災害ハザードマップ等危険箇所を公表しています。 ・大井川は100年に一度の大雨（2日間で約550ミリ） ・大井川流域の中小河川は、30～50年に一度の大雨（1時間で90ミリ） ・大代川は、農地防災ダムにより大きな洪水のリスクは相当軽減されています。	◎	施策の柱1-1-2 ・県の調査結果を踏まえ、洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップを更新し、地区の避難体制等の整備を下支えします。
11	リバティなど、スポーツ設備の整備など詳しくお聞きしたい。	現在、伊太田代の郷へのスポーツ施設整備を予定しています。 「子供から高齢者までが、楽しく健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場」をコンセプトに進めています。	◎	施策の柱2-5-3 ・田代の郷整備事業地内に「子供から高齢者までが、楽しく健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場」を整備します。
12	英語教育について、小学校の5・6年生が英語を学び、今後、3年生から英語教育が始まると聞いている。小学校の先生達はその指導にあっているが、負担が多くて苦勞しておられる。今後、ネイティブスピーカーや英語を子供に教える力のある教師を雇う計画があるかどうか伺いたい。また、他市町の取組と比べて島田市はどのような計画であるのか。	平成32年度からの小学校5・6年生の外国語授業教科化に伴い、ALT（外国語指導助手）や外国語活動支援員を全校に派遣し、児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上と国際感覚を養う事業を推進します。	◎	施策の柱2-3-1 ・ALTや外国語活動支援員を全校に派遣し、児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上と、国際感覚を養う事業を推進します。
13	茶まつり費用補助について、参加人数や、命題である「茶」のPRも含め、帯祭りや川越まつりと比して補助が小さすぎないか。	金谷茶まつりについては、運営に対する補助金のほか、平成30年3月にオープン予定のふじのくに茶の都ミュージアム（旧お茶の郷）とのコラボ企画等を検討し、集客数の増加を図っていきます。 なお、補助金額については、関係者の皆様の御意見を伺いながら調整を図りたいと考えています。	—	
14	人口減少に対する施策として、ほ場整備された南地区等広大な農業地が、農業振興区域として法の網の中で動きがとれないが、住宅地促進、企業誘致の対象地として法の網の解除を目指す方針は無いのか。	当面は、新東名島田金谷IC周辺の内陸フロンティア推進区域での企業誘致を目指しているため、現時点では南地区の開発の予定はありません。	—	
15	島田市内でも若者達は緑茶をあまり飲まなくなった。我が家の孫達は、緑茶を出せば飲むが、普段は麦茶やカルピスを飲んでいる。静岡県内でも、レストランや旅館で緑茶を出すかわりに「ほうじ茶」を出すところが多くなった。「島田市緑茶化計画の推進」とあるが、市民や県民に積極的に緑茶を飲む生活習慣をもっと身に付けさせなければ空しい計画になると思う。良品質の茶作りに励む茶農家の努力も空しいものとなるので、立派な賞をもらっても素直に喜べない思いがある。具体的にどの様な努力をするつもりか、計画を教えてください。	島田市緑茶化計画を発表して以降、コンセプトブックの各戸配布や、アンテナショップや様々なイベント等により、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさを伝えてきました。今後も「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出していきます。 また、その機会を通じて、積極的に緑茶を飲む習慣づけのPRを行います。	◎	施策の柱5-2-2 ・アンテナショップや様々なイベント等を通じて、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
16	耕作放棄地が多くあるが、どのような取組を行っていくのか。	耕作放棄地の未然防止対策としては、地域農業をみなさんで守っていただくよう、国の「中山間地域直接支払制度」や「多面的機能支払交付金事業」の活用を推進して、農地の保全に努めています。 また、農業委員会では、農地パトロールの実施により、耕作放棄地の現状把握に努めるとともに、耕作放棄地の所有者に対して、耕作の再開や草刈等を行うよう農地管理の指導を行い、あるいは担い手を見つけて集積を促すようにしています。 なお、既に耕作放棄地となった農地への対策としては、島田市農業委員会との連携による直接指導や国の交付金事業の活用により、再生・解消に努めていきたいと考えています。	◎	施策の柱4-2-2 ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用や農業委員会の管理指導等により、耕作放棄地の発生抑制と解消を図ります。
17	人口将来像は表示されているが、工業、商業、農業など、分野別の生産額（生産量）の現状と、将来目標をどの程度にしているのか。また、このような事業により、どの程度経済力になるのか、数値目標を掲げていただきたい。	現状については、静岡県経済センサス調査の結果等で把握しています。 目標値については、個別の取組の成果指標のひとつとして検討させていただきます。	—	
18	経済の好循環を造り出すためには、高齢者の再参入が必要と考えます。（これまで培った技術や創造力を活かすことが可能）ただ、一度リタイアした者の再就職は厳しく、宝の持ち腐れになる。再就職しやすい政策ができませんでしょうか。	シルバー人材センターへの支援により、高齢者が豊かな経験と能力を発揮できる就労の場を提供していきます。 また、高い技術や創造力のある高齢者が起業を考えている場合は、島田市産業支援センター「おびサポ」で支援させていただきます。	◎	施策の柱3-1-1 ・高齢者が豊かな経験と能力を発揮できるよう、就労の場を提供するシルバー人材センターを支援します。
19	にぎわい交流拠点は本当に人の集まり、活性の拠点となりうるのか。草の広場、寂しい広場になってしまわないか。	国道1号の4車線化、金谷御前崎連絡道路の整備、国道473号島田金谷ICから大代IC間の4車線化など、周辺の幹線道路整備が進んでいることにより、この施設の利便性が高まり、集客も見込まれることから、農業振興や地域振興の拠点として整備していくこととしています。 基本計画では年間約140万人の来館者を見込んでいます。	◎	施策の柱6-3-4 ・地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鉄道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。
20	里山の保全について、耕作放棄農地が多く、くずと猪の里になっています。年3回程度草刈等保全作業が必要と思われるが、里山保全の具体的施策は何かありますか。	中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用等により、里山の保全に努めます。また、農地については農業委員会と連携し、耕作放棄地の発生抑制と解消を図っていきます。	◎	施策の柱4-2-2 ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用や農業委員会の管理指導等により、耕作放棄地の発生抑制と解消を図ります。
21	旧金中跡地利用につきまして、跡地に何が出来るかによって、周辺茶農家が行う栽培管理がしにくくなる恐れがあると思いますが、市としましてはどのようにお考えでしょうか。	長年懸案であった旧金谷中学校跡地については、静岡県と共同で民間活力を用いた施設整備に向けた事業を進めています。 今年度10月には事業者募集を開始しました。 募集条件として、景観との調和、周辺環境へ配慮することを示しています。周辺茶園などの環境と調和する事業となるよう配慮していきます。	◎	施策の柱6-3-3 ・地元要望を踏まえ優先順位を加味しながら、静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業による周辺のまちづくりを進めます。
22	旧金中跡地利用はどのようなのですか、教えてください。	長年懸案であった旧金谷中学校跡地については、静岡県と共同で民間活力を用いた施設整備に向けた事業を進めています。 今年度10月には事業者募集を開始しました。 募集条件として、景観との調和、周辺環境へ配慮することを示しています。周辺茶園などの環境と調和する事業となるよう配慮していきます。	◎	施策の柱6-3-3 ・（冒頭部）にぎわいと交流人口の拡大を目的に、県が運営するふじのくに茶の都ミュージアムや、民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
23	学園通りを挟んで、西が第一種住居専用地域となっており、建ぺい率、容積率に厳しい制限があり、少ない土地を有効利用できない。東側と同じ住居地域としていただきたい。西側を低層住宅地域とした目的はなんですか。	昭和48年に旧金谷町地域に用途地域を指定する際に、当該地域は、道路などの基盤が整っていなかったことから、将来、土地区画整理事業を実施することを念頭に、それまでの間、第一種低層住居専用地域に指定した経緯があります。 今後の方向性として、現在の土地価格が低迷している状況において、皆様の土地を少しずついただきながら（減歩しながら）土地区画整理事業を実施していくことは難しい状況にあります。 あるべき姿について、地域の皆様の声を聞いていきたいと考えています。	—	
24	中心市内の活性化について金谷地区はどのようにするのか。中心市街地のはずれの地区の交通は、大型車両の通行が多くなってきており、広域交通の安全性は確保されるのか。今住んでいるところは安全確保が大変であるため、安全の確保を考えてください。	警察に対し、地域の実情に応じた規制による取り締まりの強化、交通環境の改善を働きかけていきます。	◎	施策の柱4-4-4 ・警察に対し、地域の実情に応じた規制による交通環境の改善を働きかけます。
25	市民の安心安全について、再三の要望に対し河川の整備など行われていないところがあるが、想定外まで対応できるのか。	大代川の浚渫等の対応を県に働きかけていきます。 なお、市が管理する河川として、金谷地区では早川や錦糸川等の整備を進めます。	○	施策の柱6-1-3 ・大雨による浸水被害を最小限に抑えるため、中小河川の改修や排水路の整備を計画的に進めます。また、 <u>国・県が管理する河川の整備促進や適正な維持管理を要望していきます。</u>  ※下線部を追加しました。
26	空港周辺の活性化について気付いたのですが、静岡空港へのアクセスの悪さを改善するために、掛川—静岡間の停車駅を設置する案は全く考えられないのでしょうか。	いわゆる富士山静岡空港新幹線新駅の構想については、事業者があることなので、明確な話はできませんが、関係機関と調整し、可能性について検討していきます。	◎	国土利用計画「区分別の措置の概要」地域類型別⑥空港周辺ゾーン 富士山静岡空港新幹線構想に係る周辺まちづくりについては、県と連携して調整を進めます。
27	島田金谷IC周辺整備についての具体策は決まっているのか。	内陸フロンティア推進区域としては、先行して堤間地区や牛尾山地区に工業用地を整備するため、道路など都市基盤を整備し、企業誘致を促進します。 また、地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鐵道新駅と一体となった賑わい交流拠点を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図っていきます。	◎	施策の柱6-3-4 ・工業用地として整備する堤間地区や牛尾山地区に、道路など都市基盤を整備し、企業誘致を促進します。 ・地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鐵道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。
28	1級河川大代川の改修計画はどうなっているのか。県事業と思いますが、市民の安全安心を確保する観点から説明をもとめます。	大代川については、静岡県から今のところ改修計画はないと聞いています。浚渫等の対応については、管理者である静岡県へ働きかけを行っています。	○	施策の柱6-1-3 ・大雨による浸水被害を最小限に抑えるため、中小河川の改修や排水路の整備を計画的に進めます。また、 <u>国・県が管理する河川の整備促進や適正な維持管理を要望していきます。</u>  ※下線部を追加しました。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の問題の中に金谷庁舎のことが語られていないのはいかがか。</li> <li>・金谷庁舎跡地の方向性は。</li> <li>・旧金谷庁舎の利用目的が何も示されていないが、どのような利用方向を考えているのか。</li> <li>・旧金谷庁舎跡地はどうなるのか。</li> </ul>	過去提出いただいた「金谷庁舎跡地利用検討委員会」の提案内容を踏まえ、福祉、健康づくりに資する施設の設置可能性を検討してきましたが、調整がつかなかった経緯があります。様々な可能性を視野に入れながら、地域の皆様と共に検討していきます。	◎	施策の柱7-4-2 ・旧金谷庁舎の跡地利用について、地域の公共施設の状況を鑑み、支所機能のあり方も含めて検討します。
30	総合計画全体について、構想課題について異論はありません。重点施策の取組に共行の感があると思います。	市民の皆様の協力なくしては実現できるものではありませんので、御協力の程お願い致します。	—	
31	会社の十年計画等のように、10年20年後にあるべき姿（各々の課題について具体的に数値化等されたもの）を示し、予算を勘案した上で、実際に取り組むべき事項の優先順位、目標の設定をすべきではないか。実践する上で、そのような取組をされると思いますが、計画企画段階でもっとつっこんだ検討が必要だと思えます。	各政策においては、目標値となる成果指標「めざそう値」を設定し評価していくほか、幸福感のほか、市民満足度、施策重要度を把握する住民意識調査を毎年度実施し、経年変化を把握していきます。 なお、単なる構想とならないよう市長の任期に合わせて、基本構想8年、前期基本計画4年、後期基本計画4年という計画づくりを行っています。	—	
32	総合計画の将来像についての成果がわかるよう、体系的に上下とのつながりが明確になっていないと思われる。	将来像の実現と目標人口を達成するために、7つの政策分野を定めています。	—	
33	分野ごとの取組が現象をとらえたものが多く、原因追求が充分でないため、成果に結びついていない。	タウンミーティングでは時間の都合もあり、骨子を中心とした説明となりました。 具体的な背景等については基本構想や基本計画の中に記載しています。	—	
34	市民病院の先生を少し多くしてください。	地元医大をはじめとした関連大学に対して医師派遣の働きかけを継続するとともに、医学生修学資金の活用を図り、医師の確保に努めています。	◎	施策の柱1-2-4 ・地元医大をはじめとした関連大学に対し、医師派遣の働きかけを継続するとともに、医学生や看護学生に対する修学資金制度の活用を図り、医療スタッフの確保を進めます。
35	安全を守ると言いながら、何度も地区会提案にも出している大井川よりも危険の大きい大代川対策（浚渫含め）が何ら記載されていない。	大代川を所管する県に対して、整備の働きかけを実施していきます。	○	施策の柱6-1-3 ・大雨による浸水被害を最小限に抑えるため、中小河川の改修や排水路の整備を計画的に進めます。また、 <u>国・県が管理する河川の整備促進や適正な維持管理を要望していきます。</u>  ※下線部を追加しました。
36	地震・水害などの防災面の強化を図り、安全・安心な生活空間を確保します。と記載されているため、根岸町地区の市営住宅跡地を安全・安心な生活空間として確保していただきたい。	当該土地の今後の方向性については、地区における有効活用を念頭に、地区の皆様と協議させていただきます。	◎	施策の柱7-4-3 ・公的不動産の管理・活用に関する一連の事業に対し、民間の資金や経営能力、技術的能力を取り入れることが可能かどうかを念頭に置き、公的不動産の価値の向上にとって最も合理的な手法を選択します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
37	賑わい交流拠点のマルシェに、コミュニティPRスペースを設け、ファストフードコーナーを整備するなど、島田市のPRと集客に資する計画を立て、観光のみでなく、常連をつくるようなものにしてください。	<p>現段階では、観光案内所を設け、島田市及び大井川流域の観光をPRしていく予定です。</p> <p>また、マルシェでは日用使いの食品も販売するとともに、子育て世代のため、こどもの遊び場なども設置し、リピーターを確保していきたいと考えています。</p>	◎	<p>施策の柱6-3-4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鉄道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。</li> </ul>
38	これからのまちづくりに必要な視点で、特に「経済の好循環をつくりだす」ことが重要であると考えている。具体的な方策として、高収益の企業研究所が移転、または、新規に起業しなくなるようなことをしなければ実現はしないと考える。政策分野の「経済・産業」「都市基盤」の取組だけでは充分であるのか疑問である。経済の好循環を生む方策を特に新副市長に期待したい。	<p>企業誘致にあたっては島田市の優位性（強固な地盤、良質で豊富な地下水、陸・海・空が近接する広域交通結節点）を活かしながら、地元経済への波及効果が得られる企業の誘致を目指していきます。</p> <p>また、既存企業の振興については、産業支援センター「おびサポ」において、販路拡大や経営改善等についてきめ細やかな支援を行うことで持続性の向上を目指していきます。さらに、起業を望む方には、創業支援セミナーや個別相談会、起業のための補助制度等により支援していきます。</p>	◎	<p>施策の柱3-1-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>島田市産業支援センターが、中小企業の課題解決の場、起業希望者への支援の場、さらには異業種との交流の場として定着し認知されるよう、相談体制の一層の充実と事業者・起業希望者のニーズに合ったセミナー、交流会の企画・開催に努めます。</li> </ul> <p>施策の柱3-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。</li> <li>「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。</li> </ul>
39	シャッター通りを活かした（若者に安く貸すなど）政策をお願いします。	空き店舗対策として、リノベーションにより空き店舗を活用する場合の補助制度の創設を検討しています。	◎	<p>施策の柱3-3-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗対策として、再活用を目指したりリノベーションを支援するなど、中心市街地の資産価値を高める取組を進めていきます。</li> </ul>
40	農地の保全について、高齢化、茶価の低迷により茶畑の耕作放棄地が増加している。早急の対策が必要と思われる。	<p>耕作放棄地の未然防止対策としては、地域農業をみなさんで守っていただくよう、国の「中山間地域直接支払制度」や「多面的機能支払交付金事業」の活用により、農地の保全につながる取組を進めています。</p> <p>また、農業委員会では、農地パトロールの実施により、耕作放棄地の現状把握に努めるとともに、耕作放棄地の所有者に対して、耕作の再開や草刈等を行うよう農地管理の指導を実施するほか、担い手を見つけて集積を促すようにしています。</p> <p>なお、既に耕作放棄地となった農地への対策としては、島田市農業委員会との連携による直接指導や国の交付金事業の活用により、再生・解消に努めていきたいと考えています。</p>	◎	<p>施策の柱4-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用や農業委員会の管理指導等により、耕作放棄地の発生抑制と解消を図ります。</li> </ul>
41	みどり豊かな自然を守っていくことについて、道路の草が目立つ地元（自治会）へ環境整備作業を依頼し、お金を落とす事業を推進したらどうか。	生活環境の保全、公衆衛生向上のための地域の協力に対して、自治会に手数料を交付しています。これは地域にお住まいの皆様が自発的かつ積極的に環境衛生活動を行っていただくための支援となっています。	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
42	島田の三大自然資源は①大井川②牧之原③川根温泉+αである。大井川の流水の奪還を、全市を挙げて取り組んでいただきたい。	大井川の流量には水利権が設定されています。現在、当市区間を流れる水量は、水環境を守るため旧川根町・旧中川根町の住民等が働きかけをして増えたものです。 今後、リニア中央新幹線の南アルプストンネル工事に伴って大井川の流量減少が見込まれています。流量状況を監視していくほか、事業主体のJR東海にトンネル湧水を確実に、全量が大井川に戻すよう、利水関係団体や流域自治体と連携をとりながら強く訴えていきます。	◎	施策の柱4-3-1（冒頭部） リニア中央新幹線整備工事の進行により、大井川流域の流量減少が見込まれることから、その対策について、工事着工前の流量が全量確保されるよう事業者によるその対策を強く求めます。
43	大井川鉄道SL機関庫から放出される「石炭のスス」は地域住民にとって大変迷惑なものとして、随分我慢をしている。島田市の観光行政の目玉である「SL」は、本市に人を呼び込む観光資源となっているが、その裏には「スス」の被害に我慢をしている地域住民がいることを忘れてはいけないと思う。市行政として、大井川鉄道に対して、SL機関庫から放出される「石炭スス」対策について、積極的に進言していただきたい。要望としては①現在の煙突を2～3m高くする。②「石炭スス」を屋外に放出させない集塵機の新設または増設	御指摘の点があったことを大井川鐵道に伝えます。	—	
44	高齢化が進む自治会の運営の対策をお願いします。	自治会運営を担う人材が高齢化していることは認識しています。 その対応として、市では、地域をよく知る女性にターゲットをあて、自治会役員に女性が就任した場合は補助金を上乘せるなどの措置をしています。 実際に、自治会の規約を改正し、役員に数名の女性を登用することで、自治会運営を積極的に改革されている自治会もあります。 なお、今後を見据えた場合、自治会の再編・統合も視野に入れていく必要があると考えています。	◎	施策の柱7-1-2 ・自治会の課題解決に向けた取組による地域活性化を促すため、自治会活動の運営経費を助成します。
45	人口減少の対策、高齢化社会について、私たちの町内でも不在の家が一軒～と少なくなっている。子供も他市に出て行って家に居るのは親だけあります。子どもたちも安心して暮らせる地域を願います。	第2次島田市総合計画の目指すまちづくりの根幹の部分は以下のとおりであり、実現に向けて市民・事業者・行政が一体となってこれを進めていきます。 ・安心して子どもを産み育てられ、「子育てするなら島田」と思われるまちづくり。 ・大井川に生まれた水と緑豊かな自然環境の島田に生まれ、育ち、地域での繋がりがや支え合いの中で住み続けられ、一旦は進学や就職などで島田を離れたとしても、かつての仲間たちと再び過ごしてみたい気持ちを呼び起こす、一人ひとりが人生を描くことができるまちづくり ・島田に住んだことがない方でも、暮らすなら島田と思われる、まち全体に漂うあたたかさ、ゆったりした雰囲気大切に、まちづくり	—	
46	諏訪原城跡に専門のガイドさんを置いたらどうですか。	当市では、城内へのサイン（案内板）整備を進めています。さらに、観光ボランティアを御活用いただければと考えます。	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
47	空港周辺プロジェクトを急務で進めていただきたい。	空港周辺地域の道路整備、農業関連施設整備を県の空港隣接地域賑わい空間創生事業費補助金を活用して進めているほか、長年懸案であった旧金谷中学校跡地については、民間活力による施設整備に向けて調整を進めています。 この10月には事業者の募集を開始し、平成30年3月までに優先交渉権者を決定、平成30年7月に契約締結、平成33年3月末までには開業する予定となっています。	—	
48	空港に最も近い金谷駅について、空港行きの公共機関がないが、空港を活用した多目的施設等（旧金谷中学校跡地の整備、お茶の郷の整備など）の充実を図ることとされています。東海一を誇る牧之原台地の景観を生かすためにも、金谷駅周辺における整備が必要と思われます。提案として、旧金谷中学校跡地に、大観覧車の設置、大井川を渡る遊歩道（三島のつり橋のような）等集客できる施設ができないか。	長年懸案であった旧金谷中学校跡地活用事業については、現在静岡県と共同で民間活力を導入した官民連携事業として取り組んでおり、この10月には事業者募集を開始しました。 募集に際し、景観に関する点として「美しい茶園と調和すること」を提案事業の条件としています。 事業実施については、景観以外にも周辺環境との調和に配慮し進めていきます。	×	施策の柱6-3-3の冒頭部で、「にぎわいの交流人口の拡大を目的に、県が運営するふじのくに茶の都ミュージアムや、民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます」と示しています。
49	旧金中跡地の再開発と、新東名インター周辺事業について、新東名インター周辺事業が単独で長期に亘り成功するとは到底思えない。旧金中跡地については、目玉は「絶景の富士山」である。40数年ぶりの富士山の絶景を阻害する木立を伐採することで解放することが最優先。2番目には、広大な牧之原平面を島田カントリー等の協力を得て、グリーン色で整える事。3番目には、当該地が川根温泉と、相良子生まれ温泉（両温泉は泉質が全く同一）の直線上に位置し、良質温泉湧出可能性大であり、試掘を大至急実施すべし。以上の3点をまず、市と県が主導して大至急実施して、結果を判定した上で行うべし。（PPPとか、PFIとか、手法など手段が先行するのは本末転倒）	御指摘いただいた点につきまして、これら2大プロジェクトについては、当市の産業・経済の発展、さらに地域活性化のためにもスピード感をもって進めていきます。 長年懸案であった旧金谷中学校跡地活用事業については、現在静岡県と共同で民間活力を導入した官民連携事業として取り組んでおり、この10月には事業者募集を開始しました。 募集に際し、計画地に求められる条件として「景観との調和、周辺環境へ配慮した活用計画とすること」を指示しています。 事業実施については、眺望を活かし、周辺環境とも調和するよう配慮していきます。	×	施策の柱6-3-3の冒頭部で、「にぎわいの交流人口の拡大を目的に、県が運営するふじのくに茶の都ミュージアムや、民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます」と示しています。
50	想定外まで想定した大代川の改修をお願いします。	大代川の整備を所管する島田土木事務所に浚渫等について働きかけを行っており、今後も強く要望していきます。	○	施策の柱6-1-3 ・大雨による浸水被害を最小限に抑えるため、中小河川の改修や排水路の整備を計画的に進めます。また、 <u>国・県が管理する河川の整備促進や適正な維持管理を要望していきます。</u> ※下線部を追加しました。
51	新金谷駅周辺の道路整備について、金谷泉町往還下公園を緑と自然のある公園にしてほしい（水遊び場等）	現在、公園整備については老朽化した施設遊具の更新や修繕を優先している状況であります。 市で芝生を用意し周辺地域の皆様に植えていただいた事例等を参考にしていただき、地域でも御検討願います。	—	
52	分野ごとの取組の各重点施策は公共施設マネジメントが未公表の中、財政を考えると信憑性がないと思われる（事業の優先順位）。	公共施設の総量21%を削減、施設の統廃合、長寿命化を長期的視点から実施する公共施設マネジメントの取組について、具体的個別計画の策定作業を現在進めています。 その内容を含めた第2次島田市総合計画の具体的な進め方は、来年9月策定予定の実施計画で示していきます。その中で、財政計画と整合をとり、事業の優先順位を明確にしていきます。	—	



No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
53	何年もかけて協議してきた、旧金谷庁舎の扱いが全く記載されておらず、大いに不満である。	過去提出いただいた「金谷庁舎跡地利用検討委員会」の提案内容を踏まえ、福祉、健康づくりに資する施設の設置可能性を検討してきましたが、調整がつかなかった経緯があります。 様々な可能性を視野に入れながら、跡利用について地域の皆様と共に検討していきます。	◎	施策の柱7-4-2 ・旧金谷庁舎の跡地利用について、地域の公共施設の状況を鑑み、支所機能のあり方も含めて検討します。
54	旧金谷町役場の利用に力を入れてください。	過去提出いただいた「金谷庁舎跡地利用検討委員会」の提案内容を踏まえ、福祉、健康づくりに資する施設の設置可能性を検討してきましたが、調整がつかなかった経緯があります。 様々な可能性を視野に入れながら、跡利用について地域の皆様と共に検討していきます。	◎	施策の柱7-4-2 ・旧金谷庁舎の跡地利用について、地域の公共施設の状況を鑑み、支所機能のあり方も含めて検討します。
55	大きな市民会館づくりは考えもの、効率等から心配。	市民の皆様の声聞きながら、従前の市民会館が持っていた文化機能の再生について検討していきます。	◎	施策の柱7-4-2 ・老朽化が進む市役所本庁舎、解体した旧島田市民会館及び大規模改修等の検討時期を迎える市民総合施設プラザおおりについて、庁舎機能の更新を前提に当市の中心地にふさわしい施設のあり方を一体的に検討します。

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。